



長野吉田高校進路室だより

3年生版
-10月号-
2025.10.27発行

◆ 共通テストまであと 80 日

共通テストの出願が 10/3（金）に、また最終的な確認・訂正期間も 10/17（金）に終わりました。Web 出願初年度となった今回、長野吉田高校からは 229 名の出願となりました。

さて、共通テストまであとおよそ 80 日です。この期間を以下の区切り、またカレンダーを使って見通しておきましょう。

【0期】特編 A に入るまでの準備期。演習授業で伸びるための基盤固めのラストチャンス。

【1期】特編 A 序盤期。演習授業 + 放課後・週末学習による最適なリズムを構築する。

【2期】特編 A 中盤期。特編 A リズムが安定し、最も学習を充実させたい時期。

【3期】懇談会中・冬休み中…演習授業が行われない中でもリズムをキープする工夫を。

【4期】共通テスト直前期…共通テスト当日に心身の状態を最高の状態に持っていけるように。

【5期】共通テスト後…共テの結果がどうあれ、すぐに次の「やるべきこと」に取りかかる。

	月	火	水	木	金	土	日
10月	27	28	29	30	31	1	2
	授業					模試	
11月	3	4	5	6	7	8	9
	授業						
	10	11	12	13	14	15	16
	授業						
	17	18	19	20	21	22	23
	期末考査					全統プレ	
	24	25	26	27	28	29	30
	特編授業						
12月	1	2	3	4	5	6	7
	特編授業					駿台プレ	
	8	9	10	11	12	13	14
	特編授業						
	15	16	17	18	19	20	21
	特編授業						
	22	23	24	25	26	27	28
	特編/懇談会						
1月	29	30	31	1	2	3	4
	冬休み						
	5	6	7	8	9	10	11
	校内模試					特編授業	
	12	13	14	15	16	17	18
	特編授業					共テ	

アドバイス

【0期】は今後の演習授業の前提となる知識・方法・スキルを身に付ける最後のチャンス。記述模試や期末考査を短期的な目標として活用しながら、抜け漏れをつぶしていくましょう。

また、学力の土台は心身の健康、それを作るのは規則正しい生活リズムです。①早起き ②しっかり食事 ③遅刻せず登校 ④集中して授業 ⑤がっつり学習 ⑥湯船につかって入浴 ⑦定時に睡眠、という健康的な生活リズムを今一度確立し、2~3月の終盤戦までよい状態を保ち続けられるよう心がけましょう。

全統プレは特編A前の「初期値」をはかる機会です。自己採点結果を分析して、以降の学習に活かしましょう。

【1期】特編A開始。毎日本番さながらの演習に追いまくられる日々ですが、1日1日必ず何かをつかみ取るという強い気持ちで受講しましょう。演習授業の効果を最大化するためには、放課後や土日の使い方も大切。駿台プレでは、ここまで取り組みが手応えあるものになっているか、確認しましょう。

【2期】が終わると懇談会・冬休みになり、授業による演習の機会がぐっと減ります。つまり、その前のこの【2期】が特編Aの「本体」なのです。この期間に、出題傾向や難易度の変化に左右されない「自分の勝ちパターン」を見出し、それを徹底した反復練習によって「身体化」ていきましょう。

【3期】懇談会中（午前授業）と冬休みは、皆さんの自己管理の力が問われる「試練の時」です。どうすれば自分の生活・学習のリズムが崩さないで学習を進められるか、またどうすればいたずらに1人で不安に陥ることがないか、この時期に入る前にしっかりと計画・対策を立てた上で臨みましょう。

【4期】そろそろ腹も据わってくる時期です。校内模試（Kパック）では結果の出来不出来よりも、予定通り思い通り頭と体が動くかを最終チェックすることが大切です。そしてこの時期は、本番で「昨日と同じことをやるだけだ」と思えるように、最後まで気を抜かずに取り組むことが大切です。体調管理にも気をつけて。

【5期】共テはゴールではなくあくまで前半部、通過点です。自己採点の結果がどうあれ、感慨に浸っている暇はなく、すぐに個別試験対策の学習に切り替える必要があります。出願／私大個別入試／国公立前期入試／国公立中後期入試…と続く忙しい中でも学力アップしていくために、前もって「個別試験に向けて取り組むべきこと」および「学習に使える日」を確認し、共テ後の学習・生活をイメージしておきましょう。

この時期大切なこと① 模試の受験／結果について

この時期、毎週のように模試受験があり、また模試結果が返却されます。夏休み以降の学習の成果が現れてきている人もいますが、思うように成績が伸びずにつらい思いをしている人もいるようです。

そうした皆さんにお伝えしたいのは「模試結果は1ヶ月前の自分の姿」であるということです。そのとき何ができなかつたかは自己採点時に明らかになっていたはず。そこからしっかり弱点補強に取り組み、改善してきたのであれば、その模試はすでにあなたの「養分」になっている、と考えていいのです。

この時期大切なことは、模試にせよ、授業時の演習にせよ、赤本=過去問検討にせよ、その都度すぐに「自分に足りないところを具体的に把握し、学習に活かし、乗り越える」ことです。合否判定や合計点・偏差値だけを見て大雑把に一喜一憂してあまり得るところはありません。模試を受験したらすぐ弱点分析、そしてその補強に取り組み、1ヶ月先の自分へのプレゼントにしていきましょう。

この時期に大切なこと② 保護者懇談会までに考えておきたいこと

12月の保護者懇談会では、いよいよ具体的な出願計画について決めていきます。主に確認することは主に以下の3点です。これらについて家庭でよく話し合っておいてください。

- 国公立前期・後期（及び中期・独自日程）の出願予定。
- 私大の出願予定。
- 現役合格を優先と考えるか、特定の志望大受験を優先と考えるか。

ここでは、特に私大の出願について簡単に説明します。私大の入試は、大まかに次の3つの日程があります。

- ① 学部個別日程…私大受験の王道。○○大学△△学部の入試を受ける、という入試。他日程と比べ募集定員が最大である場合が多い。
- ② 全学部日程…1回の受験で○○大学の△△学部と□□学部の入試が受けられる、という入試。同じ大学に複数の希望学部がある場合にありがたい。しかしその便利さから多くの受験生が出願することになる…のに学部個別日程と比べて募集定員が少ないことが多い。したがって難易度はやや高い。
- ③ 共通テスト利用入試…共通テストの点数によって合否が決まる入試。国公立大と併願しようが複数の私大を併願しようが試験は共通テスト1回で済む。とても便利なので、当然ながら非常に多くの受験生が出願する…が、学部個別・全学部日程に比べ募集定員が極端に少ない。したがって共通テストが相当の高得点でなければ合格は難しい。

これらに「出願時期の早い日程・遅い日程」「受験科目数の多いパターン・少ないパターン」「地方会場の有無」といった要素が加わり、私大の入試は非常に多種多様なものになっています。自分がどの日程・パターンで、いつ・どこで受験するのかを、早めに検討しておきましょう。

現在進んでいること・今後の予定

- 10月下旬まで：総合型選抜の入試終了（一部、2次型を除く）※お疲れ様！
- 11月上旬：学校推薦型選抜の出願開始。下旬までに試験実施 ※頑張れ！
- 11/1（土）ベネッセ-駿台記述模試
- ※ 10/18 実施の全統記述同様、共テ本番+この記述模試（=国公立大個別試験に見立てる）によるドッキング判定の結果が、国公立大の出願先決定の主な判断材料となります。私立大出願の最終的な判断材料も、この模試になります。
- 11/8（土）小論文模試
- 11/18（火）～11/21（金）2学期期末考査 ※高校最後の定期考査です。
- 11/22（土）・11/23（日）全統プレ共通テスト ※2日間、本番さながらの時間割で行います。
- 11/25（火）特編授業A開始。

10月	
27 月	一斉委員会
28 火	
29 水	P
30 木	生徒総会
31 金	
11月	
1 土	○ 進研記述模試[1・2・3]
2 日	○
3 月	○ 文化の日
4 火	
5 水	
6 木	A
7 金	
8 土	○ 小論文模試[3]
9 日	○
10 月	
11 火	
12 水	
13 木	P
14 金	
15 土	○
16 日	○
17 月	
18 火	▲
19 水	▲
20 木	▲
21 金	▲
22 土	○ 全統プレ共テ[3]
23 日	○ 全統プレ共テ[3] 勤労感謝の日
24 月	○ 振替休日

期末考査